

予算特別委員会質疑

予算特別委員に就任！総額3兆5,000億円を超える県予算をしっかりと審議しました！

歩行者用灯器・横断歩道の設置

このの 過去3年間の歩行者用灯器・横断歩道の設置状況や設置要件、設置要件のホームページでの公開を！

交通部長 設置要件の公表を検討する
警察本部への申請は111件で歩行者用灯器は226灯、横断歩道は1,273件の申請で、1,146本整備した。設置要件は調査結果を基に総合的に判断している。県警ホームページでの設置要件の公表を検討する。

SNSによる子供の犯罪被害

このの SNSを通じて犯罪に遭った子供の状況について、埼玉県の最新の被害状況及び対策を！

生活安全部長 犯罪被害防止に努めていく
増加傾向にあり、青少年保護育成条例違反のみだらな性行為等や児童ポルノの被害が多い。県警では学校に職員を派遣した教室の開催、啓発動画の配信など、学校等教育機関と連携した取組の他、ツイッター上の不適切な書き込みに対する警告、注意喚起のリツイート等を実施している。引き続き犯罪被害防止に努めていく。

男性職員育休・時短勤務

このの 県の知事部局の男性職員の育休取得率は、国が示す目標値はクリアしているが、母親たちには時短勤務で早く帰ってきた方が助かるという声も多くある。部分休業の時短勤務など推進を！

総務部長 活用について丁寧に説明していきたい
育児休業のほかに勤務時間を短縮する育児休暇や部分休業などの制度があるが、この制度を利用した男性職員は少ない。職員に対して丁寧に説明していきたい。

教育現場の女性管理職登用

このの 小中高校などの管理職に占める女性の割合について、政府は2020年の女性管理職の割合を20%以上とする目標であったが、埼玉県は未達成だ。取り組み強化を！

教育長 女性管理職登用に努めていく
令和3年度当初は18.8%になる見込みである。リーフレットの配布や各学校への働きかけにより意識啓発を図っている。また、管理職選考において出産や子育て、介護などの時期と重なる場合は受験を最長5年間猶予する制度も設けている。今後も働き方改革を推進し、女性管理職登用につなげるよう努めていく。

皆様のご意見を募集しています！
皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。



産後うつケアの推進

このの コロナ禍で妊産婦が孤立、また女性の自殺も急増しているなかで、年々予算額が減少傾向にあり残念に思う。今後の対策、制度の抜本的な見直しを！

保健医療部長 産後うつの支援に取り組んでいく
うつ病の早期発見、支援につなげることを目的とした「EPDS※に対する補助制度」を県独自に実施しており、令和2年度の実施市町村数は14市町である。保健師の負担軽減等も必要だが、今後とも全産婦に実施できるよう取り組んでいく。 ※産後うつ病スクリーニング検査

不妊治療助成事業

このの ①男性への助成件数が少ないが要因と対策を！
②35歳未満の女性への情報提供・普及啓発を！
③過去3年間の助成件数の大きな減少の理由は？
④将来結婚を希望する未婚女性が卵子を保存する際の補助・助成の検討は？

保健医療部長 正しい知識の普及啓発に取り組んでいく
①不妊は男性にも原因があることが十分理解されていないことや、治療機関や助成対象の治療が限定されていることが原因であるが、令和3年から男性不妊を扱う泌尿器科医療機関での治療も助成対象となった。こうした助成制度の改正の周知や、不妊に関する正しい知識の普及啓発に取り組んでいく。
②県では不妊に関する知識をまとめた冊子を配布し、ホームページにも掲載している。中高大学生を対象に、助産師による出前講座を令和元年度は21回実施した。今後も工夫して普及啓発に取り組んでまいりたい。
③助成件数の減少は、所得制限や年齢制限が要因の一つ。また、35歳未満で治療を行う方が増え、少ない治療回数で妊娠に至っていることも理由と考えられる。対象年齢層の人口も年々減少傾向にある。
④疾病のない健康な女性が卵子を保存する際の補助、助成については、現時点では検討していない。

殺処分ゼロに向けた取組

このの 人と動物が共生する社会づくりについて、SNSを活用した飼い主探しや、コロナ禍でのオンライン譲渡会など、動物の飼い主探しの推進を！

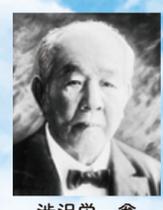
保健医療部長 周知するなど協力してまいりたい
県ではSNSを活用した飼い主探しを4月から行う予定。動物愛護団体が行うオンライン譲渡会を県の公式アプリなどを通じて周知するなど協力してまいりたい。

無所属県民会議 戸田支部 このの桃子
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL: 048-235-5358
ホームページ <https://konnonomoko.com/>
メールアドレス info@konnonomoko.com



県政報告
レポート

令和3年度 埼玉県予算 特大号



予算のテーマ
埼玉県出身で日本近代資本主義の父と称される渋沢栄一翁。NHK大河ドラマの主題にもなった、栄一翁が詠んだ漢詩の一節にちなみ銘打ちました。

新たな社会へ 青天を衝け

埼玉県議会議員 無所属県民会議 このの桃子



県議会議員として2年目を終え、いよいよ折り返し地点に入りました。新型コロナウイルス感染症という世界で誰も経験したことのない脅威に対し、社会は大きな変革を求められています。今こそ、政治が主導力を持ち、地域の皆さんと心を一つにしてこの苦難を乗り越えていかなければなりません。引き続き全力で取り組んでまいります。



このの桃子 プロフィール
【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(2期)、埼玉県議会議員(戸田市初の女性県議として当選)、1児の母
【資格等】政党無所属、手帳検定1級、書道師範、防災士

令和3年度 埼玉県予算

一般会計

2兆1,198億
4,300万円
(前年度比8.1%増)

全会計合計

3兆5,026億
9,833万9千円
(前年度比1.5%増)



予算特別委員会で 鋭く指摘！



持続可能な 発展・成長を！



コロナウイルス感染症対策 特別委員会で集中審議！



県民の生命を 脅威から守る！

新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越え、人口減少社会においても本県が持続可能な発展・成長を続けるためには、感染症対策など喫緊の課題に的確に対応していく必要があります。加えて、デジタル化への対応や、激甚化・頻発化する自然災害への備えを進めるとともに、子どもからシニアまで生涯を通じていきいきと活躍できる社会をつくり、誰一人、どの地域も取り残すことのない「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現してまいります。

令和3年度 県コロナ対策予算 1,001億1,700万円

新型コロナウイルス感染症対策 997億8,200万円

- 新型コロナウイルス感染症に関する医療提供体制の強化
- 検査体制・軽症者等療養体制の確保
- クラスター対策の推進
- 感染者のフォローアップ ●県民相談の実施

ワクチン接種体制の整備 3億3,500万円

- ワクチン予防接種の専門相談
- 医療従事者等のワクチン接種に係る予約サイトの構築
- 妊婦を対象としたウイルス検査の実施

戸田市内のワクチン接種について

戸田市では国の示す接種順位等に従い、準備を進めています。
●方法：インターネットまたは電話予約による ●郵送で対象者に順次届く接種券が必要 ●費用：無料 ●場所：医療機関、集団接種会場 ●接種券送付予定：高齢者(4月より開始)、その他(順次)

ワクチン接種の予約・手続きのお問い合わせ
電話番号 **048-229-0577**
受付時間：8時30分～17時(土日・祝日含む)
FAX **048-229-0769**

ワクチン全般のお問い合わせ
埼玉県 電話番号 **0570-033-226**
受付時間：24時間対応(土日・祝日含む)
厚生労働省 電話番号 **0120-761-770**
受付時間：9時～21時(土日・祝日含む)

※本紙の各予算額は端数処理等を行った概算金額です

日本一暮らしやすい埼玉県に! 新たな社会へ青天を衝け

令和3年度 埼玉県 一般会計予算 **2兆1,198億4,300万円**



安心・安全の強化



感染拡大防止と医療提供体制の強化

新型コロナウイルス感染症対策	1,001億1,700万円
サステナブルな病院等の経営支援	7,000万円
感染拡大防止対策	29億4,000万円 他

このの取り組み

埼玉県、戸田市、埼玉県医師会、戸田医師会など関係者の皆さんと共に新型コロナウイルスワクチン集団接種訓練に参加。この取り組みをモデルケースに県全域に広がっていきます。



DX※の推進と県経済の回復・成長

※DX…ITを活用して生活をより良いものへ変革すること



デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

行政のデジタルトランスフォーメーションの推進	21億8,000万円
スマート税務行政の実現	700万円
デジタル化によるビジネスモデルの転換支援	2億8,800万円 他

このの取り組み

地方創生・行財政改革特別委員会として①市町村格差が生じない配慮②可能な限り効果測定を行い見える化するなど、DX推進について積極的に提言しています。



持続可能で豊かな未来への投資



埼玉版SDGs※の推進 ※国連で採択された「持続可能な開発目標」

「ワンチーム埼玉」による推進体制の強化	4,700万円
埼玉の豊かな水とみどりを守り育む	30億1,400万円
未来を創る人材への投資	13億5,700万円 他

このの取り組み

産業廃棄物中間処理・リサイクル業を運営しながら、地域活動や環境問題等様々な活動に取り組む石坂産業株式会社を視察。エコ、リサイクルなどについて多くのことを学びました。



5カ年計画における主な施策

未来への希望を実現する

子供を安心して生み育てる希望をかなえる	379億2,700万円
誰もが健康で安心して暮らせる社会をつくる	52億5,000万円



生活の安心を高める

医療の安心を提供する	1,065億6,500万円
暮らしの安心・安全を確保する	117億700万円
危機や災害に備える	743億9,500万円



人財の活躍を支える

一人一人が人財として輝ける子供を育てる	701億6,300万円
多彩な人財が活躍できる社会をつくる	107億3,900万円



成長の活力をつくる

埼玉の成長を生み出す産業を振興する	75億300万円※
埼玉の農林業の成長産業化を支援する	1億7,000万円
埼玉の活力を高める社会基盤をつくる	225億9,100万円



豊かな環境をつくる

持続的発展が可能な社会をつくる	51億9,700万円
豊かな自然と共生する社会をつくる	56億1,900万円



魅力と誇りを高める

県民が誇れる埼玉の魅力を高める	67億400万円
支え合いで魅力ある地域社会をつくる	4億600万円



危機や災害に強い埼玉の構築

激甚化する降雨への対応	120億4,700万円
都市インフラの強靱化	205億3,200万円
農林業に関する危機対応の準備、災害の予防	29億1,500万円 他

このの取り組み

九都県市合同防災訓練に参加。首都直下地震等の被害を最小限に食い止めるために、相互の連携強化や住民の防災力の向上を目指し、防災訓練を実施しています。



埼玉の稼げる力の向上

「渋沢栄一創業プロジェクト」の推進	2,300万円
幅広い世代の就業支援と中小企業の人材確保	2億1,700万円
農林業の生産基盤・販売力の強化	1億100万円 他

このの取り組み

新一万円札の顔に決まり、また大河ドラマ「青天を衝け」の主人公渋沢栄一翁が議会でも盛り上がっています。これを好機に埼玉県内のビジネスを強力にバックアップしてまいります。



誰もが活躍できる社会の実現

働き方改革の推進	3,300万円
女性のキャリアアップへの支援	2億6,600万円
「世界のSAITAMAプロジェクト」の推進	1億500万円 他

このの取り組み

これまで延べ600万人の方に利用されてきた、さいたま市にある埼玉県障害者交流センターを視察。障がいのある人もない人も活躍できる社会を実現してまいります。



県民の暮らしを守る

犯罪や事故による被害の防止	7億5,400万円
児童虐待防止対策の強化	9億900万円
DV被害者等への支援	2,400万円 他

このの取り組み

「通学路でもある美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号機を設置して欲しい」という地元の要望を県議会の管轄である県警に伝え、令和3年2月に歩行者用信号機を新設しました。



魅力ある埼玉の発信

埼玉150周年記念事業の実施	3,900万円
新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生の推進	4,500万円
東京2020オリンピック・パラリンピックの開催	23億5,600万円 他

このの取り組み

県立熊谷点字図書館を視察し、点字作成の現場を見学させていただきました。子ども向けの絵本は、絵の部分にも点字が施されて楽しめるようになっていました。



未来を見据えた基盤づくり

「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進	1,200万円
「あと数マイルプロジェクト※」の推進 ※埼玉県における鉄道を中心とした交通ネットワークの整備プロジェクト	196億7,100万円
特別支援学校の整備	29億5,800万円 他

このの取り組み

予算特別委員会で、長期入院を要する高校生への学習環境整備事業費や、病気療養中の生徒を対象としたICTを活用した遠隔授業の推進について質疑しました。

